

第2回 7校の夜間定時制の存続を求める都民集会

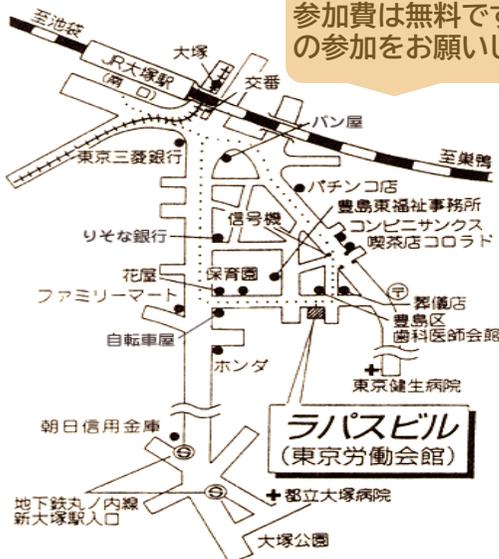
立川(立川市) 小山台(品川区) 桜町(世田谷区) 大山(板橋区)
北豊島工科(板橋区) 蔵前工科(台東区) 葛飾商業(葛飾区)

4月5日(土)14:00~16:30

ラパスホール

JR大塚駅、丸ノ内線
新大塚駅下車

参加費は無料です。多くの方
の参加をお願いします。



交通機関：JR大塚駅(南口) 徒歩5分
地下鉄 新大塚 徒歩5分

右のQR
コードは定
時制情報
局のHPで
です。こ
から署名
ができます。



都教委は昨年10月、7校の夜間定時制高校の生徒募集停止を決定しました。在校生にも、地域の方々にも何の説明もないまま廃校にしているのでしょうか。怒りの声を都教委に届けましょう！

Content

●リレートーク

夜間定時制高校教員／チャレンジスクール教員／昼夜間定時制高校教員／該当校関係者／夜間定時制高校卒業生など

●Comment

太田政男さん (夜間定時制存続「都民アピール」呼びかけ人。大東文化大学元学長)

主催

夜間定時制の存続を求める連絡会／東京都立立川高等学校
芙蓉会(定時制同窓会)／立川高校定時制の廃校に反対する
会／小山台高校定時制の廃校に反対する会／葛飾区内の夜
間定時制の存続を求める会／蔵前工科高等学校夜間定時制
を守る会／ <連絡先 河合 090-6137-0876>

はて？

夜間定時制高校を

廃校にしているの？

Q1 なぜ、7校もの夜間定時制高校が廃校になるのですか？



昨年10月の教育委員会において、立川高校、小山台高校にとどまらず、桜町高校、大山高校、北豊島工科高校、蔵前工科高校、葛飾商業高校の夜間定時制の生徒募集停止を決めました。「小規模化した夜間定時制は教育効果が十分に得られない」という理由に批判が高まっています。

Q2 小規模な学校は教育効果がないって、ほんとうですか？

夜間定時制高校では、小規模・少人数でじっくりと人間関係をはぐくみながら授業を進めています。部活や行事も夜間定時制の特徴を生かしながら実施しています。小規模だから教育効果がないというのは学校現場を知らない人たちの難癖にすぎません。その一方で、生徒数が140人もいる大規模な立川高校定時制を廃校にするのですから、そもそも言っていることが矛盾しています。

Q3 勤労青少年の学びの場ではなくなったと言っていますが。



都教委は勤労青少年の割合が約3%となったと言っていますが、アルバイトやパートをしている生徒を勤労青少年に数えていません。非正規で働いている生徒は多くいます。

Q5 夜間定時制を廃校にしても、チャレンジスクールや昼夜間定時制が受け皿になると言っていますが。



例えば、チャレンジスクールの立川緑高校は不登校経験者を主に受け入れる学校であり、昼夜間定時制の砂川高校の3部（夜間部）の授業は14時25分に始まります。チャレンジスクールや昼夜間定時制の3部は、夜間定時制の代替、受け皿にはなりません。夜間定時制は、不登校経験者だけでなく、高校中退者、外国にルーツを持つ生徒、夜間中学の卒業生、若い時に学ぶ機会を逸した人など、多様な生徒を受け入れています。

Q4 夜間定時制高校の良さって何ですか？



NHKのテレビドラマ「宙わたる教室」でも描かれているように、①少人数学級、②異年齢の生徒たちとの学びあい、③先生と生徒の距離の近さ、④先生も生徒も一人ひとりと向き合える余裕などが大きな特徴です。都立の夜間定時制では、無償で給食が食べられるのもうれしいことです。

Q6 9年前に立川高校と小山台高校の夜間定時制は廃校が決まったのに、なぜ生徒募集が続いてきたのですか？



都教委は2016年10月に両校の夜間定時制の廃校を決めました。しかし映画監督の山田洋次さんら学者・文化人125人の共同声明や、毎年1～2万筆の署名の提出など、存続を求める声が広がり、生徒募集が続いてきました。昨年の署名は22,823筆になりました。一人ひとりの署名が私たちの声となって都教委に届けられています。



夜間定時制は高校に行きたい、学びたいと思う方を幅広く受け入れています。少人数で学べる夜間定時制高校にトライしてみませんか。